

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県 上郡町

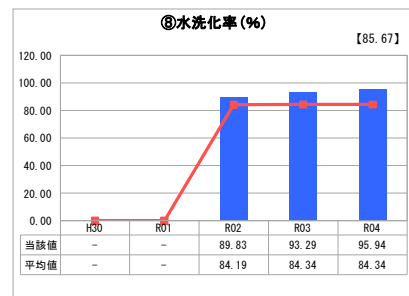
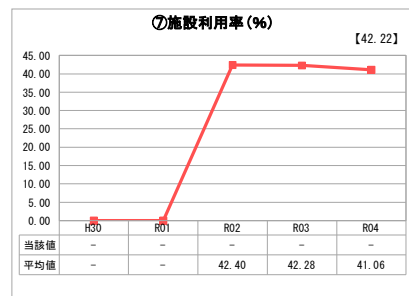
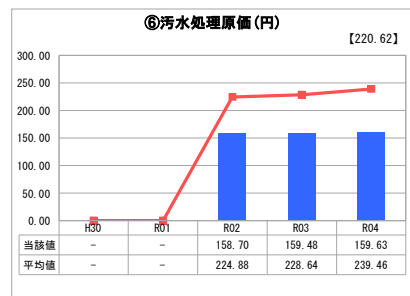
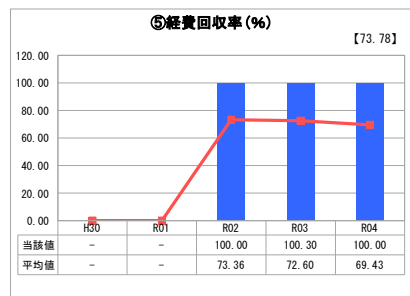
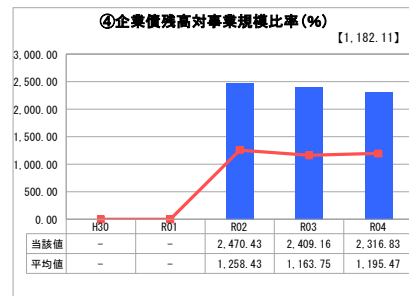
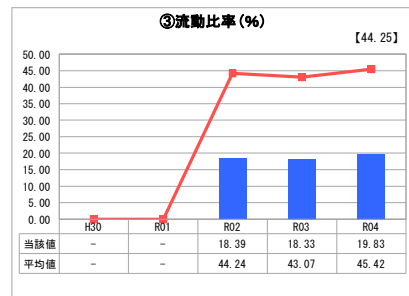
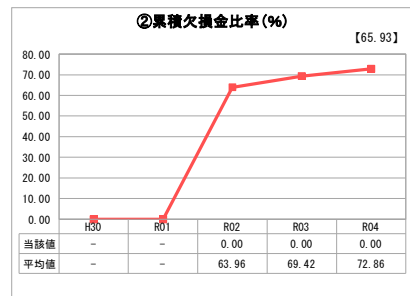
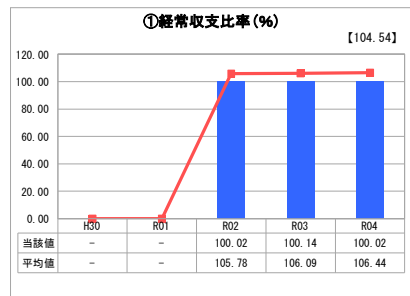
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	59.62	10.54	73.59	3,080

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,090	150.26	93.77
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,478	0.63	2,346.03

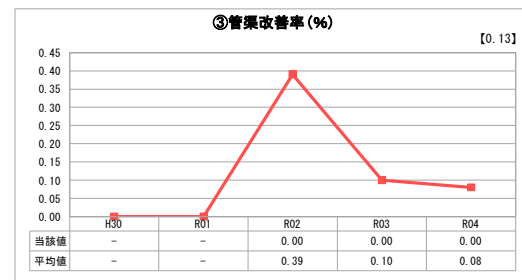
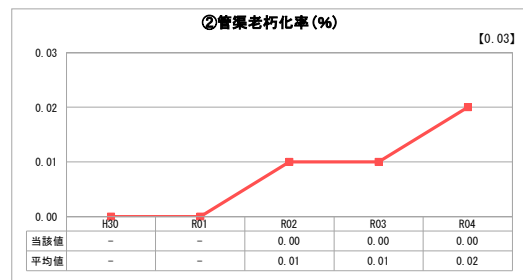
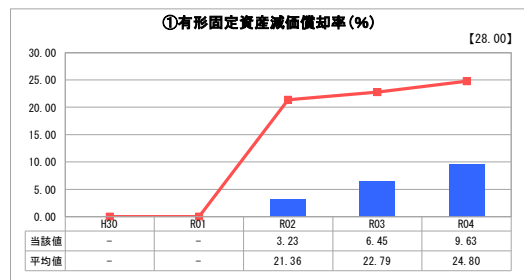
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%以上で、使用料収入及び基準内の繰入金で経費を賄っており、単年度収支は黒字となっている。
 ②累積欠損金は発生していない。
 ③流動比率は19.83%で、類似団体平均値よりも低くなっている。流動負債の大半を占める企業債償還が多額であることが主な要因であり、支払いに必要な資金を当該年度の繰入金等で賄っている。
 ④企業債残高対事業規模比率は2,316.83%で、類似団体平均値より高くなっている。事業開始時に投資した企業債の残高が多いことが要因となっている。
 ⑤経費回収率は100%であるが、施設の老朽化に伴う修繕費等の維持管理費が増加することで悪化するとも考えられるため、適正な使用料収入の確保を維持する必要がある。
 ⑥汚水処理原価は類似団体平均値に比べ低くなっているが、人口の減少により有収水量の増加は見込まれないことから、投資の効率化や維持管理費等の削減が必要である。
 ⑦公共下水道事業の施設である上郡浄化センターを利用しており、処理場を有していないため、施設利用率は0%である。
 ⑧水洗化率は、類似団体平均値より高くなっている。今後は更なる接続推進等により、毎年の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

本町の特定環境保全公共下水道事業は、平成15年度から供用を開始しており、経過年数が比較の少ないため、有形固定資産減価償却率は9.63%と低い数値となっている。管渠に関しても、法定耐用年数を超えるものではなく、現在のところ改築等の必要性はない。

全体総括

特定環境保全公共下水道事業は、公共下水道事業の処理場を利用しているため処理場を有しておらず、また、管渠は現在のところ改築の必要性がないため、汚水処理に係る経費は低く抑えることができ、安定した経営を行っている。
 しかしながら、今後は人口減少が進み、有収水量の増加は見込まず、使用料収入の減少が予測されることから、安定的な経営に向けた使用料収入の確保のため、料金改定について検討していく。また、施設の統廃合を推進し、下水道施設全体の更新事業の最適化に取り組み、効率的で健全な経営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。